



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6772 URL http://www.tocos-j.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,221	4.3	238	41.2	307	199.2	168	499.8
2018年3月期第2四半期	5,005	38.2	168	174.6	102	—	28	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 190百万円(148.5%) 2018年3月期第2四半期 76百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	107.48	—
2018年3月期第2四半期	17.91	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,950	3,938	33.0
2018年3月期	12,357	3,794	30.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 3,938百万円 2018年3月期 3,794百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となり、1株当たり年間配当金は4円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	2.5	450	20.5	500	53.7	300	20.3	191.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	1,581,250株	2018年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	14,758株	2018年3月期	14,615株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	1,566,593株	2018年3月期2Q	1,567,122株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料) P.3「経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は2018年6月26日開催の第61回定時株主総会にて、単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)および株式併合(普通株式10株を1株に併合)について決議し、2018年10月1日を効力発生日として、単元株式数の変更および株式併合を行っております。なお株式併合を考慮しない場合の2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 2019年3月期の配当予想  
 1株当たり配当金  
 期末4円00銭
- (2) 2019年3月期の連結業績予想  
 1株当たり当期純利益  
 通期19円15銭

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国通商政策の影響、一部で地政学リスクや米金利引上げに伴う新興国経済の混乱が見られましたが、総じて堅調に推移しました。日本経済は、相次ぐ自然災害や中国の景気減速の影響がありましたが、堅調な設備投資や個人消費の回復を背景に改善基調を維持しました。

当社グループの属する電子部品業界では、高機能化が進む通信機器や車載向け電子部品等で好調を維持しましたが、期末にかけて中国における設備投資減を背景に産業機器向け等の需要が減少しました。

このような情勢下、当社グループは新製品の開発や時代のニーズに即した製品の提供に努め、営業活動を強化してまいりました。大口取引先の在庫調整のため売上げが減少しておりました民生用可変抵抗器が第2四半期に入り復活したことや、本年6月に白河コスモス電機株式会社で量産を開始した車載用非接触角度センサの販売増が寄与したことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,221百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

利益面につきましては、生産設備の減価償却費が大幅に増加しましたが増収効果と原価低減で吸収し、営業利益は238百万円（前年同四半期比41.2%増）となりました。営業外損益で前年同期の中国広州東高志電子有限公司の操業準備費用や会津コスモス電機株式会社の第2工場移転費用がなくなり、また為替差益を計上したため経常利益は307百万円（前年同四半期比199.2%増）となりました。前年同四半期におきまして特別損失に計上した東高志（香港）有限公司の事業構造改善費用がなくなったため、親会社株主に帰属する四半期純損益は168百万円（前年同四半期比499.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①可変抵抗器

調整パネル用などの炭素系可変抵抗器が好調に推移し、また民生用可変抵抗器の大口取引先の在庫調整が当第2四半期後半に解消し販売は回復しましたが、第1四半期のマイナス分を補うに至らず、売上高は1,937百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。セグメント利益は、会津コスモス電機株式会社第2工場、中国広州東高志電子有限公司新工場の稼働による生産効率の向上で315百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

#### ②車載用電装部品

車載用フィルムヒーターや産業機器用センサに加え、新製品の車載用非接触角度センサが寄与し、売上高は3,093百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。セグメント利益は、増収効果と生産効率の向上で経費の増加を吸収し188百万円（前年同四半期比34.4%増）となりました。

#### ③その他

その他部門の売上は、設備販売が減少し190百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。セグメント利益は減収の影響で39百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ406百万円減少し11,950百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ169百万円減少し6,169百万円となりました。主な要因は、売上債権やたな卸資産が増加しましたが、現金及び預金やその他に含まれる未収消費税等が減少したことによるものです。固定資産は236百万円減少し5,781百万円となりました。主な要因は機械など有形固定資産や繰延税金資産が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ549百万円減少し8,012百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて151百万円減少し4,460百万円となりました。主な要因は、仕入債務や短期有利子負債が減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ398百万円減少し3,552百万円となりました。主な要因は、長期有利子負債の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し3,938百万円となりました。主な要因は、配当に伴う利益剰余金の減少と親会社株主に帰属する四半期純利益の増加によるものです。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は33.0%となり、前連結会計期間末に比べ2.3ポイント改善されました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては2018年8月9日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,975,941	1,640,483
受取手形及び売掛金	2,069,959	2,192,250
電子記録債権	502,295	595,286
商品及び製品	397,857	503,948
仕掛品	356,729	338,282
原材料及び貯蔵品	801,555	749,188
その他	242,192	157,365
貸倒引当金	△7,022	△7,215
流動資産合計	6,339,509	6,169,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,369,161	1,345,392
機械装置及び運搬具(純額)	1,182,876	1,030,632
土地	1,715,871	1,715,871
その他(純額)	670,822	738,762
有形固定資産合計	4,938,731	4,830,658
無形固定資産	19,129	18,471
投資その他の資産	1,059,837	932,200
固定資産合計	6,017,698	5,781,330
資産合計	12,357,208	11,950,921
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	941,172	826,742
電子記録債務	637,339	594,417
短期借入金	1,502,545	1,481,028
1年内返済予定の長期借入金	712,725	708,816
未払法人税等	45,238	79,366
賞与引当金	131,175	150,307
その他	641,161	619,469
流動負債合計	4,611,358	4,460,148
固定負債		
長期借入金	1,993,630	1,650,130
役員退職慰労引当金	46,014	20,334
退職給付に係る負債	1,209,163	1,195,068
繰延税金負債	72,275	47,673
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	315,187	324,577
固定負債合計	3,951,065	3,552,577
負債合計	8,562,424	8,012,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	1,868,468	1,989,845
自己株式	△24,464	△24,759
株主資本合計	3,121,003	3,242,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,403	83,469
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△67,039	△51,206
退職給付に係る調整累計額	△76,102	△70,672
その他の包括利益累計額合計	673,780	696,109
純資産合計	3,794,784	3,938,195
負債純資産合計	12,357,208	11,950,921

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	5,005,964	5,221,975
売上原価	4,090,969	4,215,227
売上総利益	914,995	1,006,748
販売費及び一般管理費	746,140	768,368
営業利益	168,854	238,379
営業外収益		
受取利息	1,171	714
受取配当金	4,741	3,989
為替差益	23,671	82,011
その他	17,077	15,568
営業外収益合計	46,661	102,282
営業外費用		
支払利息	15,370	14,674
操業準備費用	66,025	—
その他	31,234	18,198
営業外費用合計	112,630	32,872
経常利益	102,885	307,790
特別利益		
固定資産売却益	—	3,070
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	3,070
特別損失		
固定資産除売却損	10,868	2,395
事業構造改善費用	36,025	—
特別損失合計	46,893	2,395
税金等調整前四半期純利益	55,992	308,464
法人税、住民税及び事業税	16,164	71,743
法人税等調整額	11,756	68,344
法人税等合計	27,921	140,088
四半期純利益	28,070	168,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,070	168,376

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	28,070	168,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,661	1,066
為替換算調整勘定	19,433	15,832
退職給付に係る調整額	8,587	5,430
その他の包括利益合計	48,682	22,329
四半期包括利益	76,753	190,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,753	190,705



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,988,276	2,821,302	4,809,579	196,385	5,005,964	—	5,005,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,988,276	2,821,302	4,809,579	196,385	5,005,964	—	5,005,964
セグメント利益	291,713	140,059	431,773	45,245	477,018	△308,163	168,854

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用308,163千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,937,929	3,093,514	5,031,444	190,531	5,221,975	—	5,221,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,937,929	3,093,514	5,031,444	190,531	5,221,975	—	5,221,975
セグメント利益	315,775	188,250	504,025	39,358	543,384	△305,005	238,379

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用305,005千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (重要な後発事象)

当社は、2018年5月15日開催の取締役会において、2018年6月26日開催の第61回定時株主総会に株式併合及び単元株式数の変更に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認され、2018年10月1日付でその効力が発生しております。

## 1. 株式併合の目的

全国の証券取引所では、売買単位を100株に統一するための取組みを推進しております。それを踏まえ、当社普通株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更することとし、併せて、証券取引所が望ましいとしている投資単位の金額水準（5万円以上50万円未満）とすることを目的として、株式併合を実施しております。

## 2. 株式併合の割合及び時期

2018年10月1日付をもって2018年9月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を10株につき1株の割合で併合する。

## 3. 株式併合により減少する株式数

株式併合前の発行済株式総数（2018年9月30日現在）	15,812,500株
株式併合により減少する株式数	14,231,250株
株式併合後の発行済株式総数	1,581,250株

## 4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が与える影響は、（1株当たり情報）に反映されております。